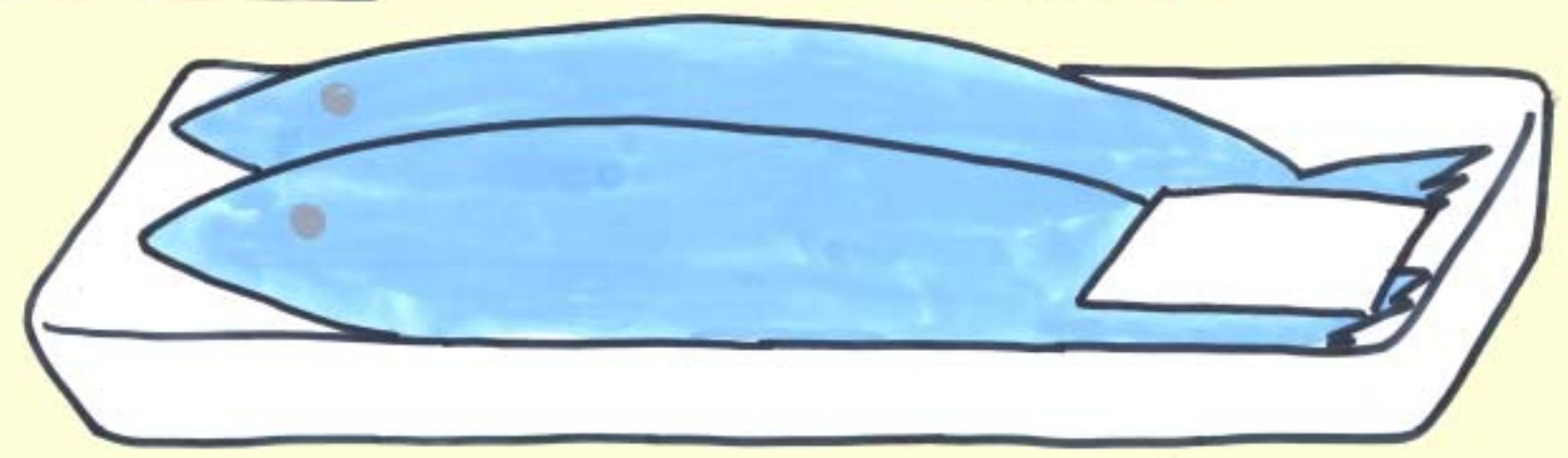
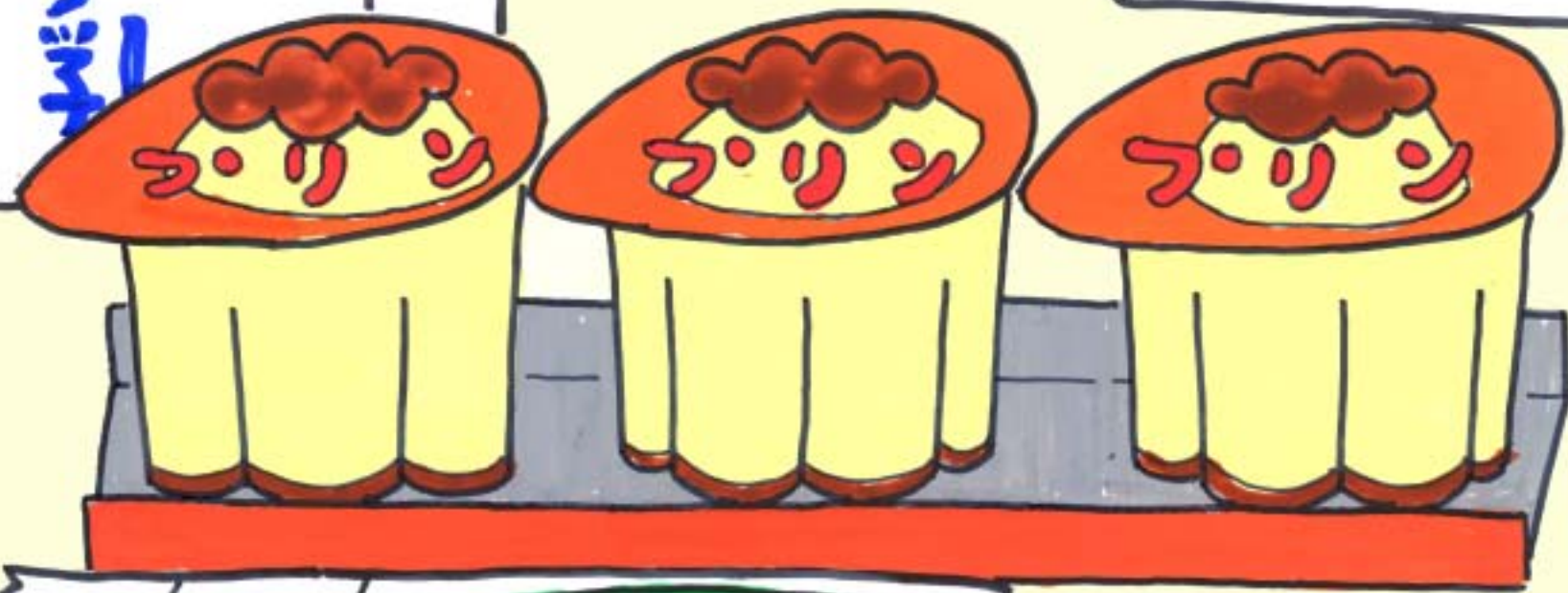


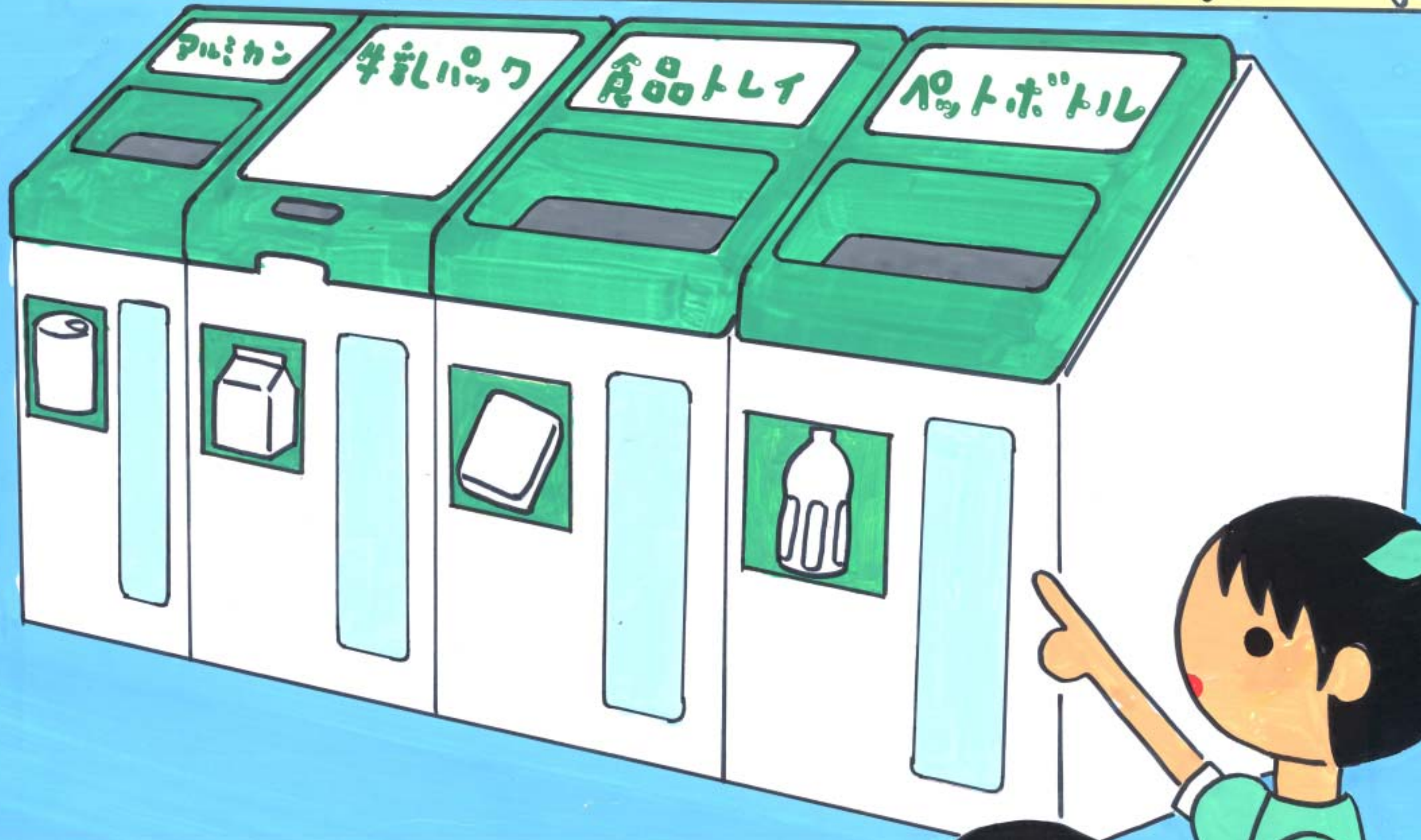
おしえて リーちゃん



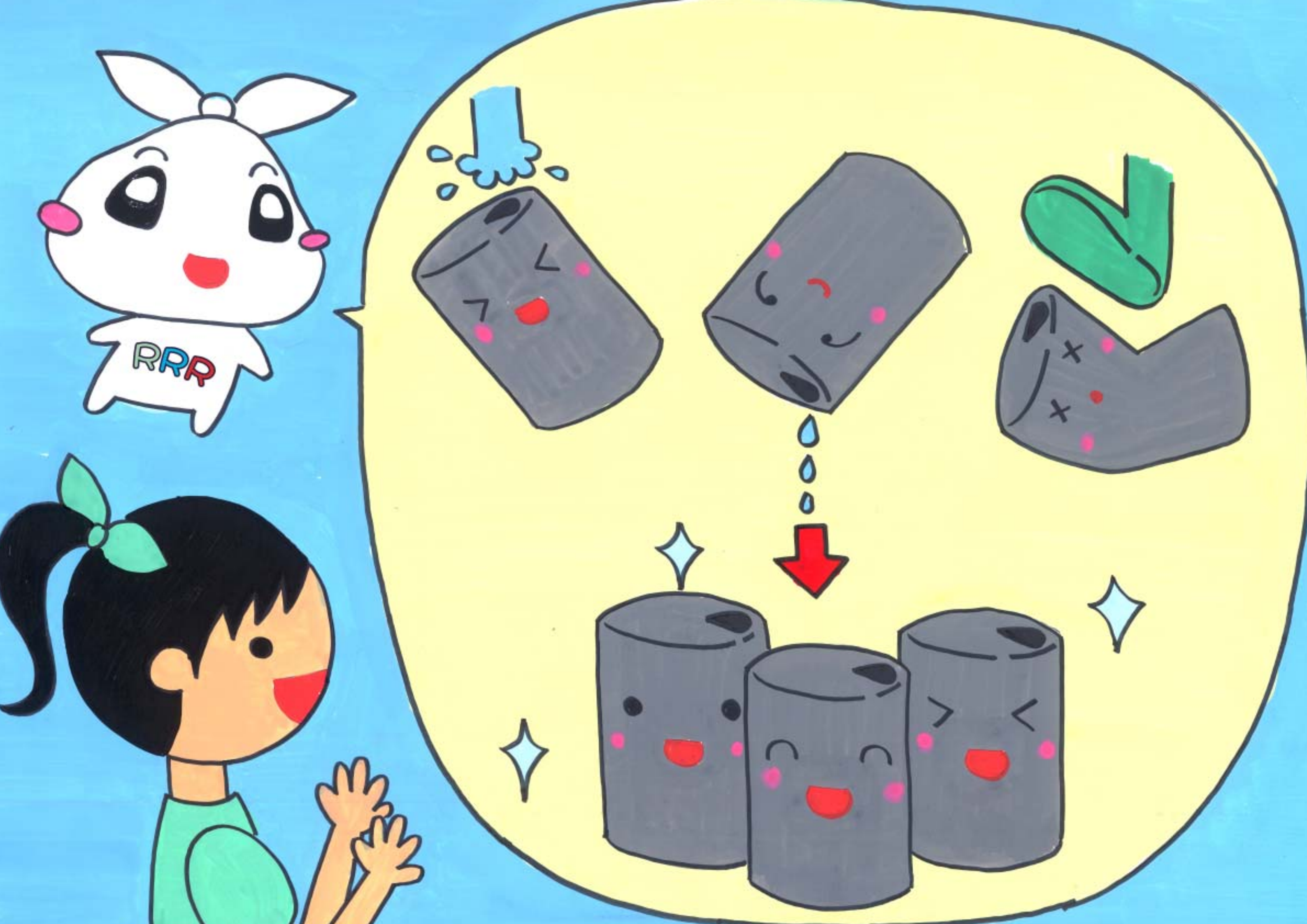


すてればごみ
いかせば資源

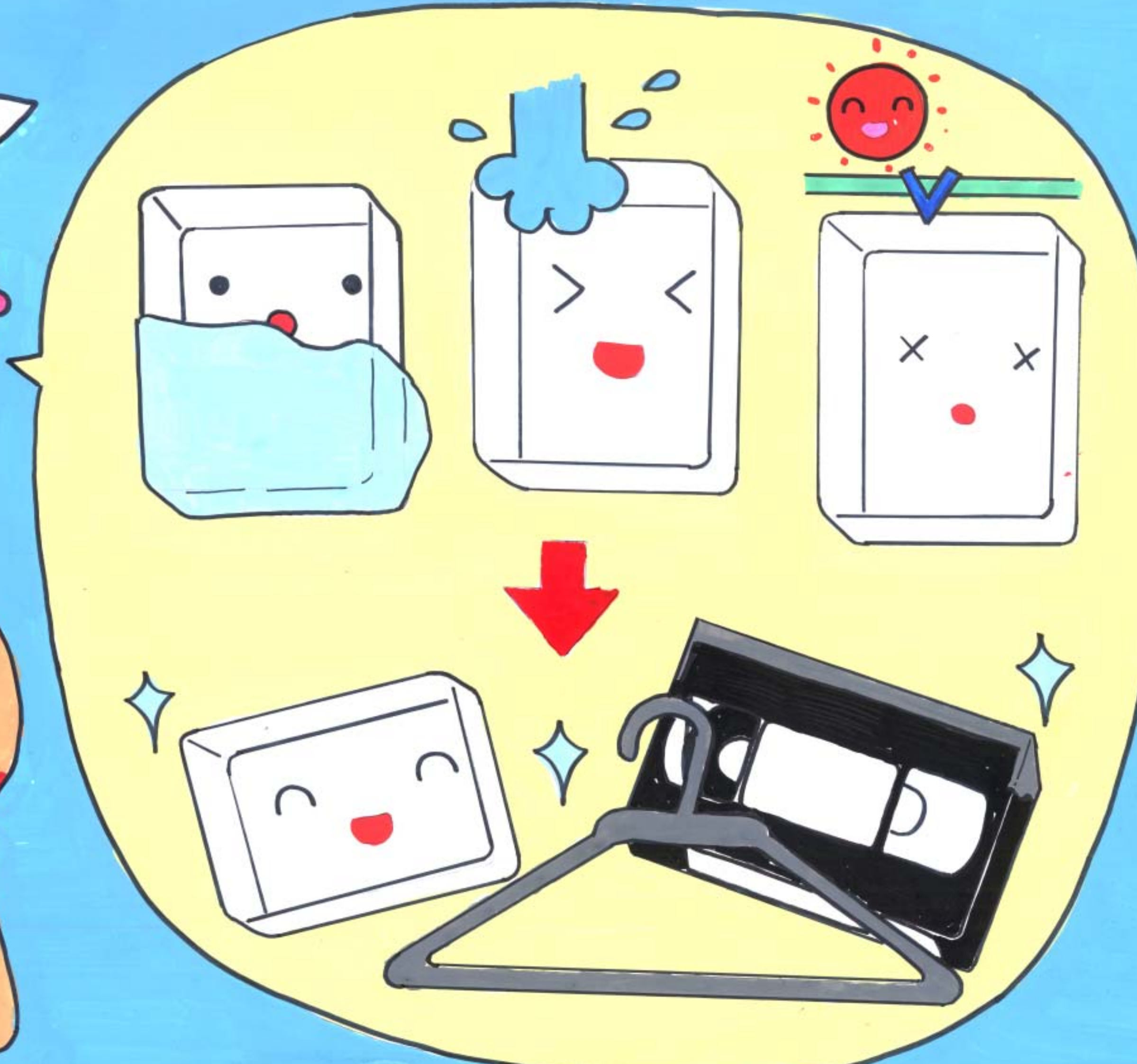
リサイクルに皆様のご協力をお願いします







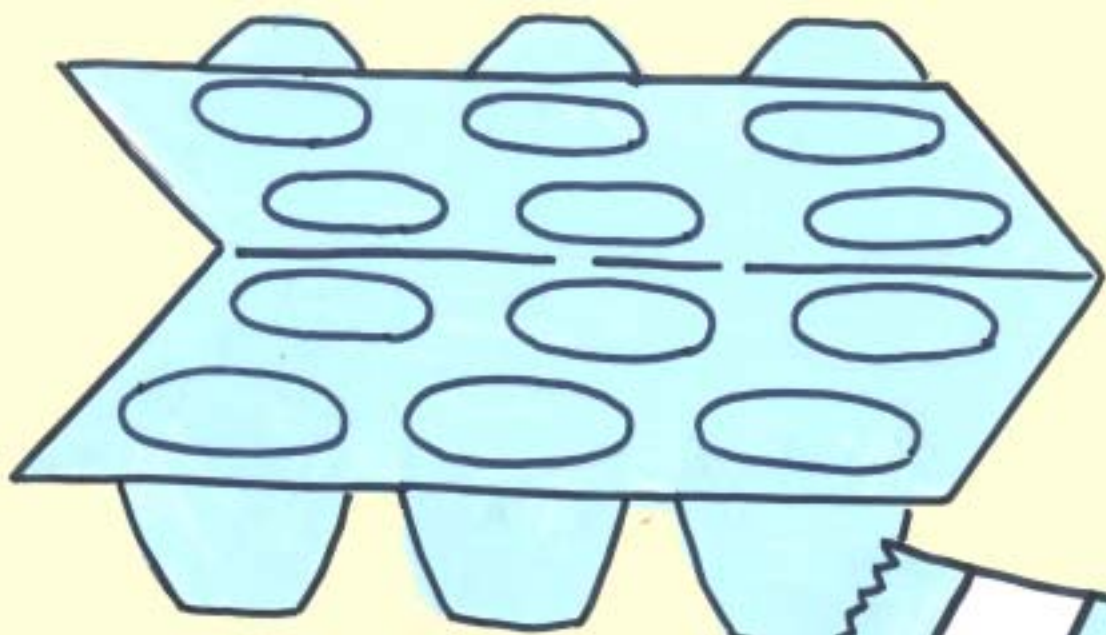


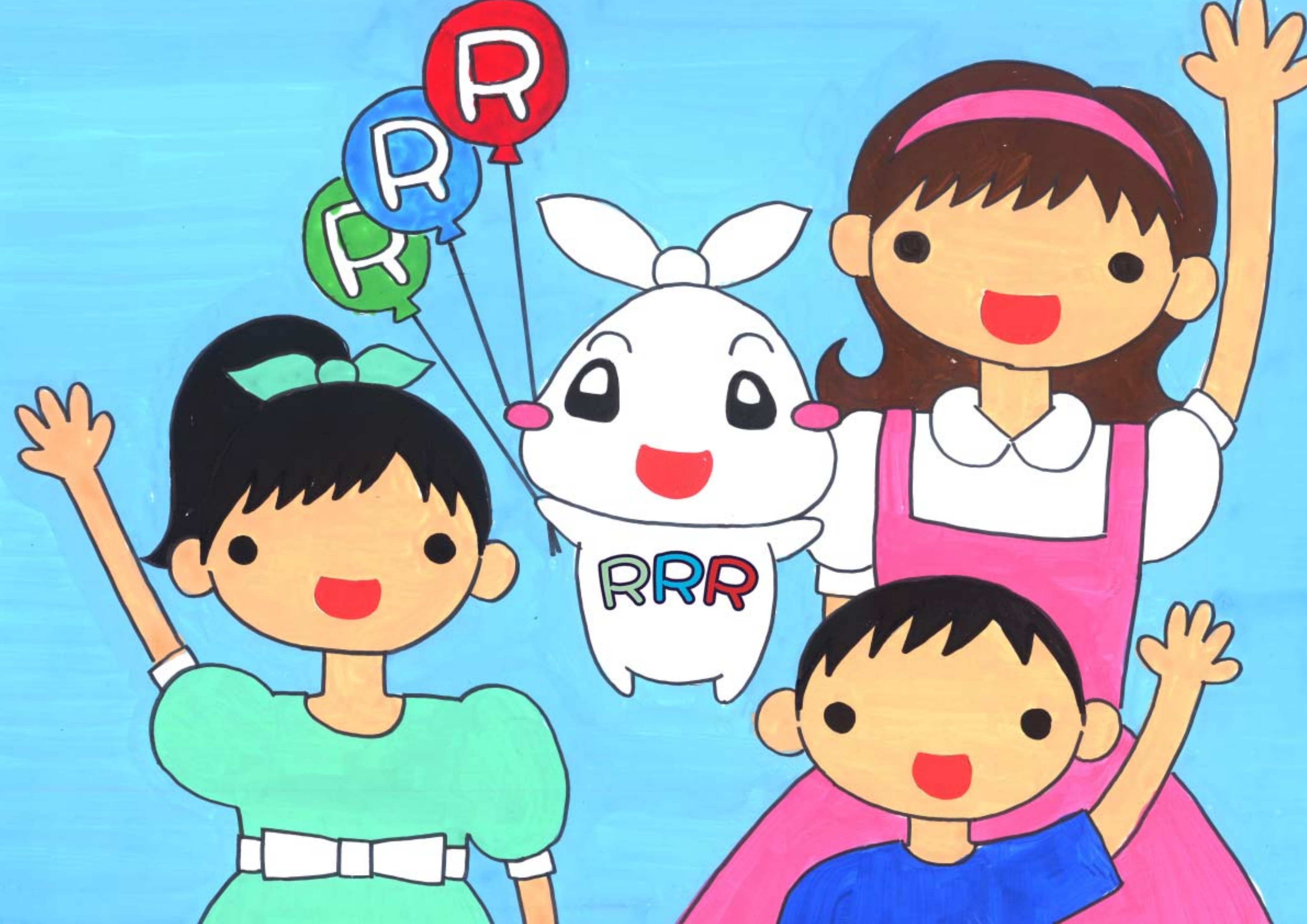












おしえてりーちゃん

お母^{かあ}さんが

お買^かい物^{もの}から帰^{かえ}って来^きました。

「牛乳^{ぎゅうにゅう}、ジュース、豆腐^{とうふ}、プリン、
納豆^{なっとう}、パン、さかな・・・」

お母^{かあ}さんは買^かって来た物^{もの}を
バツグから出^だして確^{たし}かめています。

「あらっ！？ たまごを買^かい忘^{わす}れてるわ。
まあ大^{たい}変^{へん}大^{たい}変^{へん}どうしましょ。

「ゆきちちゃん、けんくん、

たまごを買い忘れてきちやったわ。

でも、これから

ごはんを作り始めないと

いけないから

2人でスーパーへ行つて、

たまごを買ってきて

くれないかしら？」

とお母さんが2人に頼むと、

「はい。」

「いいよ！」

「いってきまーす！」

と2人とも元気よく

返事をしてスーパーへ

でかけていきました。

スーパーの入口に
大きな箱が置いてありました。

「おねえちゃん、これなあに？」

「なんだろう。アルミ缶、
牛乳パック、食品トレイ、
ペットボトルって
書いてあるけど……？」

「わかったよおねえちゃん！

これは、ごみ箱だよ。
缶は缶のところ、ペットボトルは
ペットボトルって書いてある
ところに捨てれば
いいんじゃないの？」

「あー、なるほどー！ きつとそっだね。
でも……どっして別々の箱に
入れなきゃいけないのかな？」

ふたり
2人が首をかしげていると・・・
ボワンツ

とつぜん
突然、目の前にリーちゃんが
あら
現われました。

「はじめまして！」

『ごみゼロの国』から来ました、
リーちゃんです。

その箱は、ごみ箱じゃないんだよ。
リサイクルボックスって言って、
缶や紙パック、食品トレイ、
ペットボトルなどを

きちんと分けて入れれば、
新しい物に生まれ変わることが
できるんだよ。」

「へえ、

どんなものに生まれ変わるの？」

と ゆきちゃんがたずねると

「アルミ缶は、きれいに洗って、

乾かしてあの箱に入れると、

工場に運ばれて、

新しい缶に生まれ変わるんだ。」

と リーちゃんは答えました。

すると、ゆきちゃんは驚いて、

「なに

「へえ、じゃ、紙パックは？」

と 聞きました。」

すると

リーちゃんは

「紙パックもきれいに洗って、
乾かして、あの箱にいれるんだ。
そうすると、紙パックは、トイレ
トーパーに生まれ変わるんだ。」
と教えてあげました。

「へえー！すごいね。」

「じゃあ食品トレイは？」

と ゆきちちゃんは続けて
聞いてみました。

「食品トレイも同じように、

洗って乾かして、

あの箱に入れると

工場に運ばれて、

同じトレイや

プラスチックのハンガー、

ビデオテープなどに

生まれ変わるんだよ。」

とリーちゃんが

教えてあげると、

ゆきちゃんは

「え〜！なんでそんな物ものに生まれ

変わっちゃうの？

不思議だなあ。」

と驚おどろきました。

「じゃあ、けんくん。」

ペットボトルは何になると思っっ？」

と リーちゃんは

けんくんに聞いてみました。

「ペットボトルは、キャップとラベルを

はがして、洗って、乾かして、

つぶすんだよね。」

それで、あの箱に入れると、

どうなるんだろう？」

と けんくんは不思議そうです。

「ペットボトルは、服やぬいぐるみ、

ペン、じゅうたんなどにもなるんだよ。」

と リーちゃんが教えてあげると

「ええー!?! すげーいんだね。」

と けんくんは驚きました。

そうです。みんながリサイクルできるものを
きちんと分けて出してくれれば、新しい物に
生まれ変わることができるのです。

リーちゃんが教えてくれなければ、

ゆきちちゃんとけんくんは、

ごみと一緒に捨ててしまっつところでしたね。

「わたし私いえの家では、

しょくひんと食品トレイもぺつとペットボトルも

いっしょ一緒にばこごみ箱にす捨てていたよ。

いそ急いでかあお母さんに

おし教えてあげなくちゃ。」

ゆきちゃんとけんくんは、

たの頼まれたかたまごを買って

いえ家にかえ帰りました。

「ただいまー。」

「お帰りなさい。」

家に帰ると、

ちよつどお母さんが
食品トレイをゴミ箱に
捨てているところでした。

「お母さん、そねじみじゃないよー！」

お母さんは、

ゆきちちゃんの話聞いて
驚きました。

リーちゃんは

お母さんに教えてあげました。

「ちっぴを買ってきたたまたまこのパックも
納豆やプリンが入っていた入れ物も

『いみ』じゃないんです。

『プラ』『マークがついてくるのでしょひん…』

このマークがついているものもきねいにして
きちんと分けて出してもらえれば、

たとえば運動会で使うコーンや、
マンホールのふたなどに、

生まれ変わることができるとです。」

するとお母さんは

驚いていました。

「へえー！そっなのね。」

これからは、何でも捨てないで
リサイクルするわ。」

ゆきちゃん&けんくんの
初めての買い物。

りーちゃんに

リサイクルのことを

教えてもらって

お母さんもびつくり。

みんなが行くスーパーや

保育園にも

リサイクルボックスがあるか

探してみてください。

そして、おうちの人にも

教えてあげてください。

おしまい

制作
協力

葛飾区環境部リサイクル清掃課・清掃事務所
日の出保育園